

# 熊谷じゃーなる

くましよう じゃーなる



## 熊谷小麦でスイーツ

熊谷市内の県立高校や特別支援学校8校の生徒らによる熊谷産小麦「さとのそら」を使ったオリジナル菓子の販売イベント「スイーツ文化祭」が1日、同市仲町の八木橋百貨店で開かれた。学校や地域の特色を表現した個性派スイーツがずらり。学校のPRにもつなげようと呼び込みの声にも熱が入り、会場は大勢の来場者でにぎわった。  
(橋本浩佑)



熊谷産小麦の普及活動を  
進めているNPO法人「くま  
まがや小麦の会」(日向美  
津江会長)が主催。全国有  
数の小麦産地である熊谷を  
知り、郷土への愛着を深め  
てもらおうと、各校に参加  
を呼び掛けた。今年で2回  
目を迎える。熊谷高校は生徒会のメン  
バーが「くめきサブレ」を  
販売する生徒たち「熊谷市  
仲町の八木橋百貨店」  
さんには「熊谷高校120年  
の伝統が詰まったお菓子を  
味わってほしい」と、学校  
案内を手にお客さんに猛ア

### 八木橋百貨店 市内8校が「文化祭」

熊谷女子高校は、学校のシンボルである「鈴懸の木」の葉をデザインした「鈴懸クッキー」を販売した。学校の文化祭でも人気を博している名物スイーツだ。いつもは丸い形だけど、今回は葉っぱの形にこだわった。手作りの温かさを感じてもらえれば」と部長の2年生、竹淵果歩さん。  
ほかにも、熊谷商業高校の「灼熱あつべえカレーパン」、熊谷西高校の「ボン太リングドーナツ」、熊谷特別支援学校の「ゆめのすけクッキー」、妻沼高校の「カルティ&ベートンサブレ」、熊谷工業高校の「ブルーベリーパウンド」、熊谷農業高校の「スコーン&ブドウジャム」などが販売された。  
日向会長は「2回目を迎え、生徒たちもたいぶ積極的になってきた。学校や生徒同士の交流にもつながるし、これからも若い人の力で熊谷を盛り上げるため、恒例行事にしていきたい」と話していた。

上  
11月1日(日)八木橋百貨店にて『スイーツ文化祭』の販売実習 【埼玉新聞11/3】

左  
11月1日(日)熊谷コミュニティ広場にて第64回熊谷えびす大商業祭での販売実習

課題研究『まなびや』では地域企業と連携し、商品開発を行ったり、販売実習を行っております。  
11月28日(土)は熊谷駅構内で開発商品を中心に販売実習を行います。ぜひ、お立ち寄りください。

